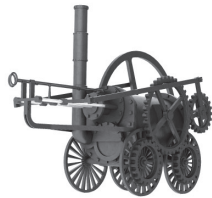


小池滋の

ヨーロッパ鉄道 歴史と文化 I



社団法人 ヨーロッパ鉄道協会

はじめに

1825年、世界初の鉄道による公共交通が始まりました。イギリスのダーリントンとストックトンの間です。以来、人々は、科学技術発展の成果が蒸気機関車を通して具体的な形となって、自分の目で明らかにすることが出来ました。そのことが、その後の世界を一新する原動力となったことは疑いありません。産業革命とも相まって、ものすごい勢いで時代を変化させました。鉄道は単なる輸送機関ではなく、あらゆる方面に影響し、人々の生活を変えてゆきました。その後の困難な長い歴史を経て、今日、第二の大鉄道時代を迎えようとしています。

社団法人ヨーロッパ鉄道協会では、ヨーロッパ鉄道の利用促進のために、ヨーロッパの鉄道に関する知識の向上とヨーロッパの鉄道への関心を導くような、今までと違った広報活動が必要ではないかと案じてきました。これまで40年間にわたってヨーロッパ鉄道手配業務に携わった経験により、正確で最新の列車案内や実用的な内容の本や広報だけでは、ヨーロッパ鉄道への関心が大きく広まることはないと感じています。

次世代のヨーロッパ鉄道ファン層を広げるには、より多面的で、物語性を持ったアカデミックな鉄道のテキストが必要です。教養としての鉄道と文学、絵画、映画、リゾート、旅行産業など、その裾野は果てしなく広がっています。同時に、ヨーロッパ鉄道の長い歴史と経験から日本が学ぶべきことや参考にすべきことはまだまだ数多くあります。

本書は、このような趣旨に基づいて作成されました。本書をテキストとして、鉄道セミナーや検定試験を実施することにより、ヨーロッパ鉄道への一層の関心を導き、これまでとは異なる新たな鉄道ファンの誕生に貢献できると確信しています。今後は、セミナーやWEB検定、電子テキストの出版などを予定しています。今後の予定はホームページでお知らせします。膨大なシステムである鉄道をすべて捉えることは困難ですが、その研究への足がかりになれば幸いです。

本書を発行するに当たり、最適の講師として、小池滋先生に講義をお願いしたところ、善意でお引き受けいただきました。2010年3月から12月まで32回にわたって講義をしていただき、その講義録から当社団法人ヨーロッパ鉄道協会が追記・編集してテキストにまとめました。すべての表現・文責は社団法人ヨーロッパ鉄道協会にあります。万全を期しましたが、誤りがありましたらご教示をお願いいたします。

小池滋先生は、東京大学文学部卒業後、東京都立大学、東京女子大学の教授などを歴任されました。英文学の研究者として、とりわけデイケンズ研究の第一人者であると同時に、子供のころからの強烈的な鉄道ファンであり、鉄道に関しても第一人者で、『英国鉄道物語』、『坊ちゃんはなぜ市電の技術者になったか』、『世界鉄道推理傑作選』、『デイケンズ短編集』、『もうひとつのイギリス史』など多数の著作があります。

ご協力いただいた小池先生には心より感謝し、御礼申し上げます。今後も先生からアドバイスを賜り、読者の皆様にはさらなる情報をお伝えできるようにしていく所存です。

2012年●月●日
社団法人ヨーロッパ鉄道協会
理事長 篠崎幸雄

00	イントロダクション	1
1	我々はヨーロッパの鉄道に何を学ぶべきか	1
2	トラブルの対処方法	4
3	少数意見の尊重	5
4	路面電車	8
5	料金体系	11
	<small>ちよつと一息 途中下車</small> イギリス人気質に仰天! 超合理的? なドアの開閉	12
01	イギリスの保存鉄道	13
1	イギリスの鉄道に学ぶ事	13
2	保存鉄道協会	14
3	イギリス保存鉄道第一号	15
4	鉄道は文化遺産	17
5	鉄道博物館	17
02	鉄道と観光産業	19
1	鉄道と英語	19
2	鉄道時刻表「ジョージ・ブラッドショー」	20
3	旅行業1「トマス・クック」	21
4	旅行業2「トマス・クック」と「ブラッドショー」の時刻表	23
5	リゾート1「バース」	24
6	リゾート2「ブライトン」	26
7	リゾートの創造1「ブラックプール」	28
8	リゾートの創造2 イルミネーションの発明	30
9	リゾートの創造3	31
03	イギリス鉄道の歴史	33
1	鉄道の定義	33
2	「トレヴィシック」と「ジョージ・スチープンソン」	34
3	リバプール・アンド・マンチェスター鉄道	36
4	「ロケット号」	39
5	世界最初の鉄道事故	41
6	鉄道王ジョージ・ハドソンと「鉄道規制法」	43
7	ゲージ戦争	44
8	イギリスは「四大鉄道」に集約	46
9	イギリス国鉄の時代	49
10	国鉄改革案 鉄道の上下分離方式	50
	<small>ちよつと一息 途中下車</small> 機能が明確に分けられているイギリス車両の正面と側面	52

04 フランス鉄道の歴史 53

- 1 「リヨン」と「サンテティエンヌ」 53
- 2 「ナポレオン3世」の時代に「六大私鉄」 54
- 3 「エタ鉄道」の設立 55
- 4 パリの地下鉄と「SNCF」の設立 57
- 5 戦後の鉄道電化 58
- 6 「TGV」の開発 59
- 7 「パリ」の主要ターミナル駅 61

05 ドイツ鉄道の歴史 65

- 1 「バイエルン王国」最初の鉄道 65
- 2 「ライプツィヒ」と「ドレスデン」 66
- 3 リストの鉄道体系 67
- 4 「プロイセン」の鉄道 69
- 5 「ドイツ帝国」の鉄道 70
- 6 ドイツの鉄道技術 71
- 7 世界初の「懸垂式モノレール」 73
- 8 ドイツ鉄道と日本の鉄道 74

06 オーストリア、ハンガリー鉄道の歴史 77

- 1 最初の開業は「フロリツドルフ」と「ドイチュ・ヴァグラム」間 77
- 2 「ゼンメリング峠」 78
- 3 ハンガリーの最初の鉄道 79
- 4 「オーストリア連邦鉄道」と「ハンガリー国有鉄道」の設立 81
- 5 高速列車「レイルジェット」 82
- ちよつと一息
途中下車 ウィーンのトラムとメトロ 19世紀末の駅舎 84

07 スイス鉄道の歴史 85

- 1 「チューリッヒ」と「バーデン」間 85
- 2 「ゴタルド・トンネル」 86
- 3 「シンプロン・トンネル」 88
- 4 壮大なルート 89
- 5 「歯車式鉄道」 90
- 6 登山鉄道 92
- 7 TEEから「ユーロシティ」へ 94
- ちよつと一息
途中下車 鉄道と自動車の共存 アルプス山中のカートレイン 96

08 イタリア鉄道の歴史 97

- 1 最初の鉄道は1839年 97
- 2 1905年イタリア国鉄誕生 98

- 3 セッテベルロ「ETR300系」 100
- 4 TEEネットワークと「ユーロスター・イタリア」 101

09 スペイン鉄道の歴史 103

- 1 1848年、最初の鉄道は「バルセロナ」と「マタロ」間 103
- 2 1926年に「国営鉄道」が発足 104
- 3 タルゴの誕生 106
- 4 「アベ」「ユーロメッド」「アラリス」 107

10 ポルトガル鉄道の歴史 109

- 1 ポルトガル鉄道の開業は1856年「リスボア」と「カレガード」 109
- 2 ポルトガルのトラムやケーブルカー 110

11 ベネルクス3国鉄道の歴史 111

- 1 ヨーロッパの重要な幹線ルート 111
- 2 「ジョルジュ・ナゲルマケールス」 113
- 3 ヴァゴンリ社の設立 114
- 4 オリエン特急行とTEE 116
- 5 タリス 117

12 スカンディナヴィア3国鉄道の歴史 119

- 1 デンマークもスウェーデンも最初の鉄道は1856年開業 119
- 2 ノルウェイは1854年開業 122
- ちよつと一息
途中下車 海峡を横断する鉄道フェリーの全盛期 124

13 ロシア鉄道の歴史 125

- 1 最初の鉄道は1837年 125
- 2 「シベリア横断鉄道」の建設 126
- 3 帝政ロシアから共和国ロシアに 127
- 4 トルクシブ鉄道 128
- 5 「第二シベリア鉄道」の建設 129
- 6 モスクワ地下鉄の建設 130

14 ポーランド鉄道の歴史 133

- 1 1842年にロシア規格で開業 133

15 フィンランド鉄道の歴史 135

- 1 1862年「ヘルシンキ」近郊で開業 135

小池滋のヨーロッパ鉄道 歴史と文化 II

- 16 ヨーロッパ鉄道と日本
- 17 駅とは何か
- 18 ゲージ
- 19 勾配
- 20 鉄道と文学
- 21 鉄道と絵画
- 22 鉄道と映画
- 23 鉄道と音楽
- 24 地下鉄の話
- 25 列車の種別
- 26 名前のついた列車
- 27 ヨーロッパの鉄道橋
- 28 鉄道技術の発展
- 29 鉄道用語 1
- 30 鉄道用語 2